

予防接種ワクチン(暴露前)の投与量及び使用方法

不活化ワクチン

ワクチン名	投与量(1回量)	接種回数	使用方法	備考
組織培養不活化狂犬病ワクチン	1.0mL	3回	4週間隔で2回皮下注、6-12ヶ月後に1回	子供と大人量は同一
沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド(DT)	0.1mL(10歳以上) (10歳未満0.5mL)	3回	3-8週間隔で2回皮下注、初回免疫終了後12-18ヶ月の間に1回	
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(DPT)	0.5mL	4回	3-8週間隔で3回皮下注、初回免疫終了後12-18ヶ月の間に1回	
ビームゲン	0.5mL	3回	4週間隔で2回皮下or筋注、20-24週経過後1回	10歳未満0.25mL
エイムゲン	0.5mL(0.65mLで溶解後) (16歳以上)	3回	2-44週間隔で2回皮下or筋注、初回接種後24週後に1回	急ぐ場合0.2週の2回
沈降破傷風トキソイド	0.5mL	3回	3-8週間隔で2回皮下注、初回免疫終了後12-18ヶ月の間に1回	
肺炎球菌ワクチン	0.5mL	1回	皮下or筋注	2歳以上の脾摘患者のみ保険適用
インフルエンザHAワクチン	0.5mL (6-13歳未満0.3mL,1-6歳未満0.2mL,1歳未満0.1mL)	1回又は2回	皮下注(2回接種する場合は1-4週間隔)	
コレラワクチン	1回目0.5mL,2回目1.0mL (7-13歳未満0.35mL,0.7mL) (4-7歳未満0.25mL,0.5mL) (4歳未満0.1mL,0.25mL)	2回	5-7日間隔で皮下注	
ワイル病秋やみ混合ワクチン	1.0mL	2回	7日間隔で皮下注	農業、土木関係者
成人用沈降ジフテリアトキソイド	0.5mL(10歳以上)	1回	皮下注	

生ワクチン

ワクチン名	投与量(1回量)	接種回数	使用方法	備考
乾燥弱毒生麻疹ワクチン	0.5mL(0.7mLで溶解後)	1回	皮下注	
乾燥弱毒生風疹ワクチン	0.5mL(0.7mLで溶解後)	1回	皮下注 ・風しん既往の記憶は確かでないことが多く、流行時に罹患した者、及び免疫を持つことが明らかな者以外は接種することが望ましい ・妊娠可能な婦人においては、あらかじめ約1カ月間避妊した後接種、及びワクチン接種後約2カ月間は妊娠しない	
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	0.5mL(0.7mLで溶解後)	1回	皮下注	
乾燥弱毒生水痘ワクチン	0.5mL(0.7mLで溶解後)	1回	皮下注	
経口生ポリオワクチン	0.05mL	2回	6週間以上の間隔をおいて経口接種	
乾燥BCGワクチン		1回	添付の溶剤で80mg/mLの懸濁液とし、管針法により経皮接種	

(砂田)